

教養プロジェクト

北海道大学経済学部経済学科 3年

01185105 高橋陸人

本

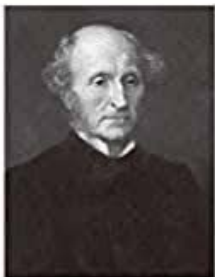
自由論

J.S.ミル

自由論

J.S.ミル著

関口正司訳



個人と社会が絶えず活力を保ちながら向上していくには、自由と多様性が欠かせない。この前提に立って、大衆の画一的な世論やエリートの特権が個人を圧殺する事態を憂慮したJ.S.ミル(1806-73)は、

自由に対する干渉を限界づける原理を提示した。現在もおお自由を考える際に欠かすことのできない古典的名著の明快かつ確かな翻訳。

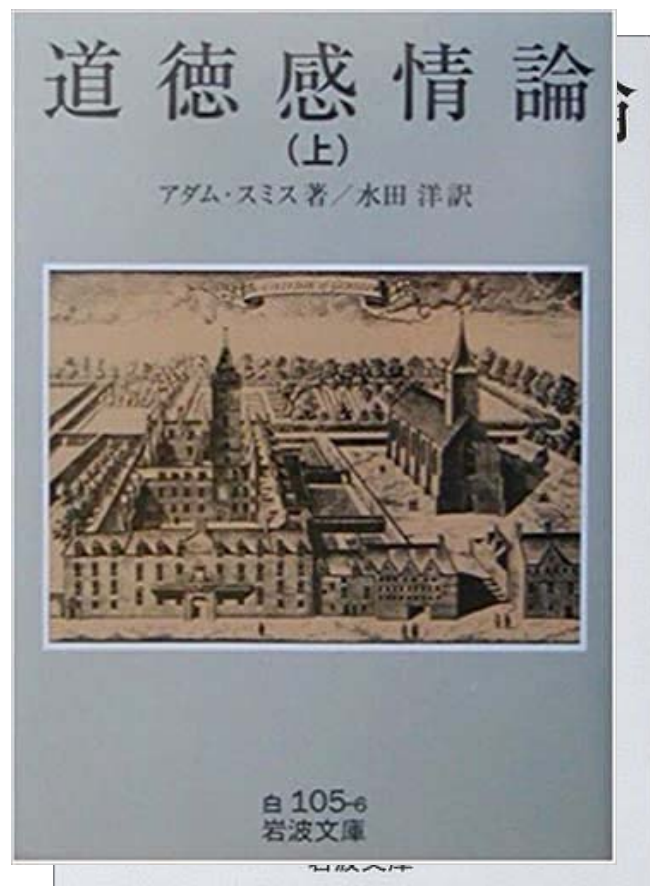


白116-6
岩波文庫

「本人の意向に反して権力を行使しても正当でありうるのは、他の人々への危害を防止するという目的での権力行使だけである」。大衆の画一的な世論やエリートの特権によって個人が圧殺される事態を憂慮したJ・S・ミル(一八〇六—一八七三)は、自由に対する干渉を限界づける原理を提示した。自由について考える際の最重要文献の明快な翻訳。

道徳感情論

アダム・スミス



人間がどんなに利己的なものと想定されうるとしても一と書き起こし，近代社会において，自由で平等な利己的個人の平和的共存が，権力の介入なしに，どのようにして可能かを追究する．当時，母校のグラスゴウ大学の道徳哲学の教授であった18世紀イギリスの経済学者アダム・スミス（1723－90）の、『国富論』と並ぶ2大著作．

雇用、利子および貨幣の一般理論

ケインズ

雇用、利子および貨幣の
一般理論

上

ケインズ 著 / 間宮陽介 訳



白 145-1
岩波文庫

経済学の歴史に「ケインズ革命」と呼ばれる一大転機を画した書。新古典派理論の特殊性と決別し、それに代わる包括的な「一般理論」を打ち立てた。資本主義の抱える大量失業と不安定な経済循環への処方箋として、雇用と有効需要、利子率と流動性とを組み合わせた独自の体系を構想。

贈与論

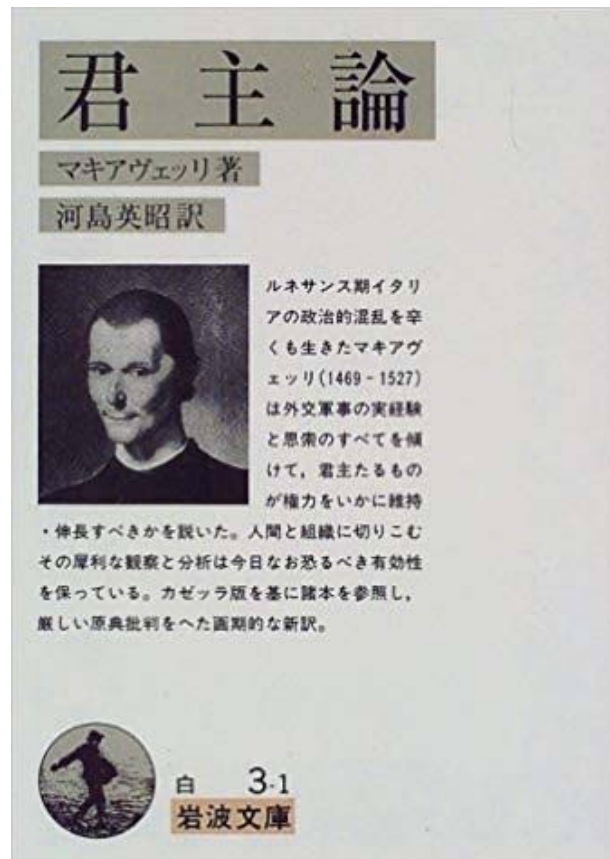
マルセル・モース



ポトラッチやクラなど伝統社会にみられる慣習、また古代ローマ、古代ヒンドゥー、ゲルマンの法や宗教にかつて存在した慣行を精緻に考察し、贈与が単なる経済原則を超えた別種の原理を内在させていることを示した、贈与交換の先駆的研究。贈与交換のシステムが、法、道徳、宗教、経済、身体的・生理学的現象、象徴表現の諸領域に還元不可能な「全体的社会的事象」であるという画期的な概念は、レヴィ＝ストロース、バタイユ等のちの多くの思想家に計り知れない影響とインスピレーションを与えた。不朽の名著、待望の新訳決定版。人類社会のアルケーへ。

君主論

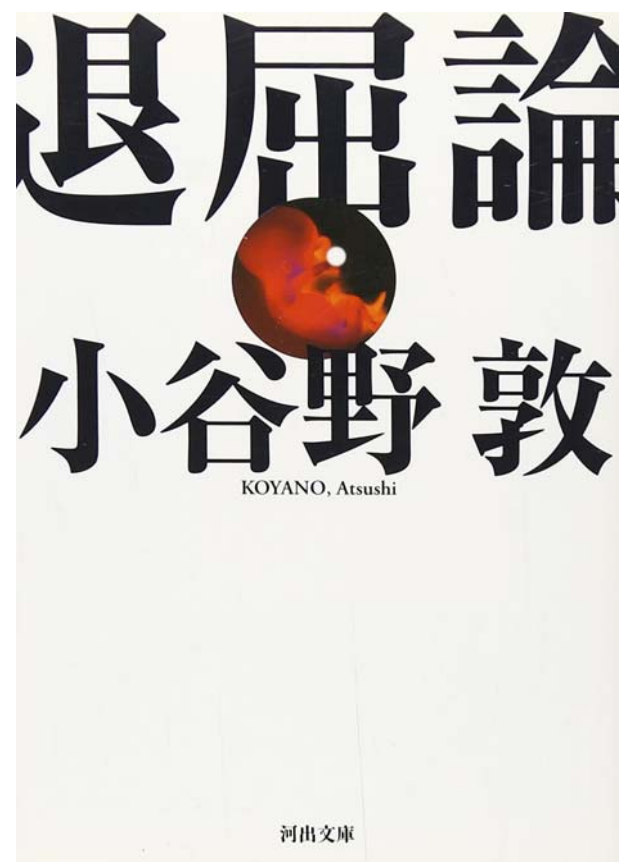
マキヤヴェッリ



ルネサンス期イタリアの政治的混乱を辛くも生きたマキアヴェッリ（1469-1527）は外交軍事の実経験と思索のすべてを傾けて、君主たるものが権力をいかに維持・伸長すべきかを説いた。人間と組織に切りこむその犀利な観察と分析は今日なお恐るべき有効性を保っている

退屈論

小谷野敦



脳が進化したとき、人類は「退屈」に目覚めた。そして、孤独や不安などの悩みもまた生まれた。子育てやセックスも退屈しのぎにすぎない—壮大な構想のもとに、人類最強の敵「退屈」について考える。本当に恐ろしい退屈は、大人になってから訪れる。人生の意味を見失いかけた者に光を投げかける名著。

プロテスタントイイズムの倫理と資本主義の精神

マックス・ウェーバー

プロテスタントイイズムの 倫理と資本主義の精神

マックス・ウェーバー著

大塚久雄訳



営利の追求を敵視するピューリタニイズムの経済倫理が実は近代資本主義の生誕に大きく貢献したのだという歴史の逆説を究明した画期的な論考。マックス・ウェーバー(1864-1920)が生涯を賭けた広大な比較宗教社会学的研究の出発点を画す。旧版を全面改訳して一層読みやすく理解しやすくするとともに懇切な解説を付した。



白 209-3
岩波文庫

営利の追求を敵視するピューリタニイズムの経済倫理が実は近代資本主義の生誕に大きく貢献したのだという歴史の逆説を究明した画期的な論考。マックス・ウェーバー(一八六四 - 一九二〇)が生涯を賭けた広大な比較宗教社会学的研究の出発点を画す。

恐慌論

宇野弘蔵

恐慌論

宇野弘蔵著



資本主義経済に特有な恐慌現象の必然性を、その根拠と発現の機構にわたり原理的に論証する、日本の

代表的マルクス経済学者宇野弘蔵(1897-1977)の記念碑的著作。恐慌は、なぜ、どのようにして発生するのか? (宇野理論)の精髓を伝え、現代の資本主義と社会主義の再考にも多大な示唆と影響をあたえる恐慌研究の白眉。(解説=伊藤誠)

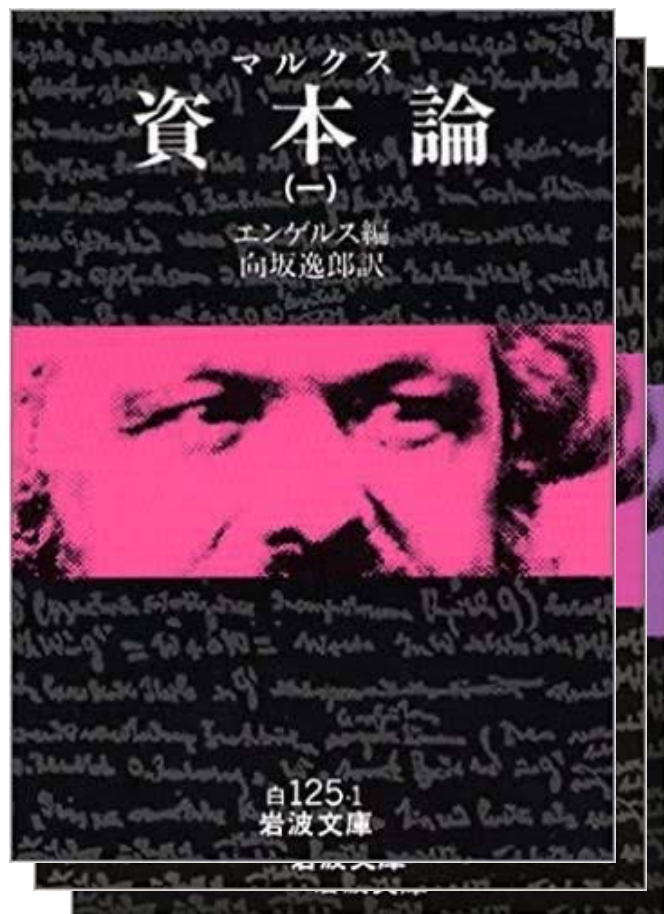


白 151-1
岩波文庫

資本主義経済に特有な恐慌現象の必然性を、その根拠と発現の機構にわたり正確に論証する、日本の代表的マルクス経済学者宇野弘蔵(1897-1977)の記念碑的著作。恐慌は、いつ、どのようにして発生するのか? 恐慌は、ただちに資本主義経済の崩壊、革命の、社会主義体制の必然を意味するのか?

資本論

カール・マルクス



マルクスが自ら生涯の事業と呼んだ『資本論』。レーニンが“現世紀最大の政治経済学上の著作”と呼んだように、近代資本主義社会の経済的運動法則を徹底的に究明して、経済学を“革命”し、また人間社会に対する見解に完全な変革をもたらして、社会主義を科学的軌道に乗せた不朽の名著。

共産党宣言

カール・マルクス

マルクス エンゲルス

共産党宣言

大内兵衛・向坂逸郎訳



「今日までのあらゆる社会の歴史は階級闘争の歴史である」という有名な句に始まるこの宣言は、階級闘争におけるプロレタリアートの役割を明らかにしたマルクス主義の基本文献。マルクス(1818-83)とエンゲルス(1820-95)が1847年に起草、翌年の二月革命直前に発表以来、あらゆるプロレタリア運動の指針となった歴史的文書である。



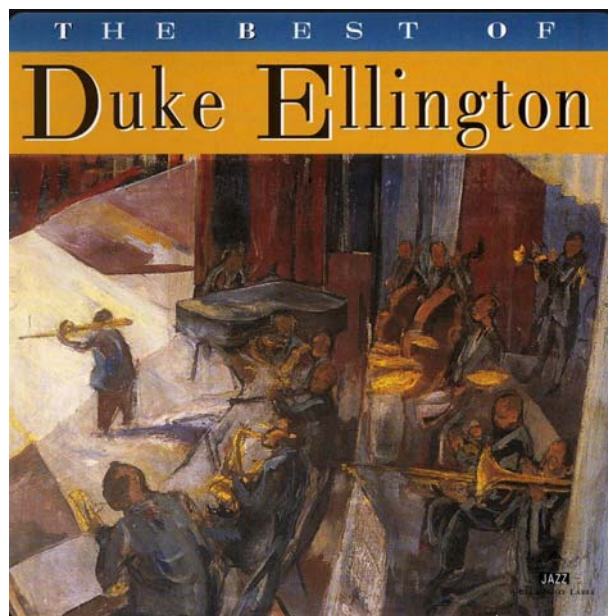
白 124-5
岩波文庫

「今日までのあらゆる社会の歴史は階級闘争の歴史である」という有名な句に始まるこの宣言は、階級闘争におけるプロレタリアートの役割を明らかにしたマルクス主義の基本文献。マルクス（一八一八—一八四三）とエンゲルス（一八二〇—一九五五）が起草、一八四八年の二月革命直前に発表以来、プロレタリア運動の指針となった歴史的文書である。

音樂

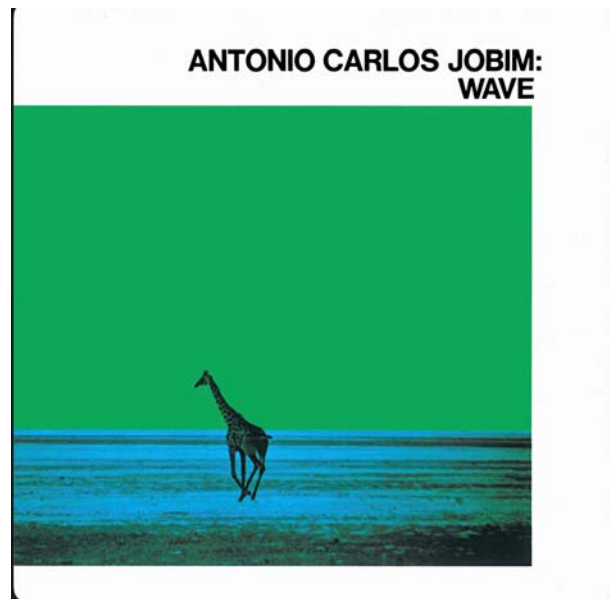
Satin Doll

デューク・エリントン & ビリーस्टレイホーン



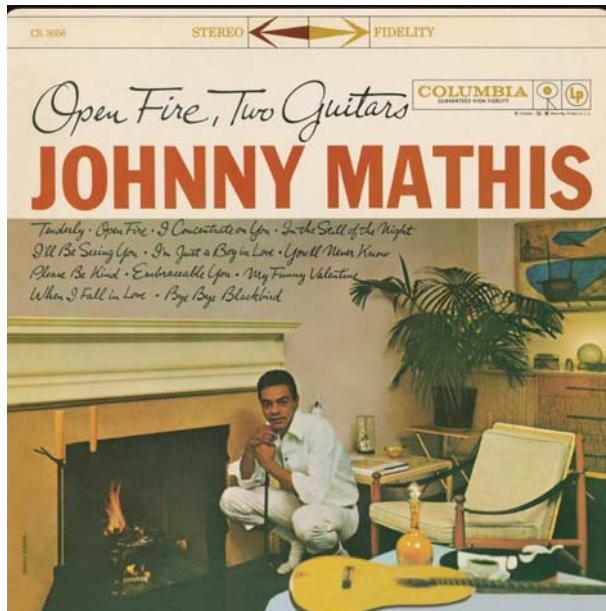
Wave

アントニオ・カルロス・ジョビン



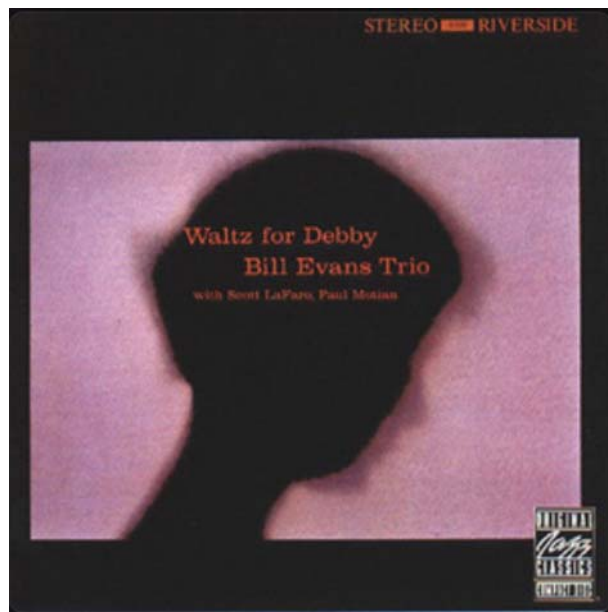
Open Fire

ジョニー・マーティス



My Foolish Heart

ビル・エヴァンス・トリオ



A Handful of Soul

マリオ・ボンディ



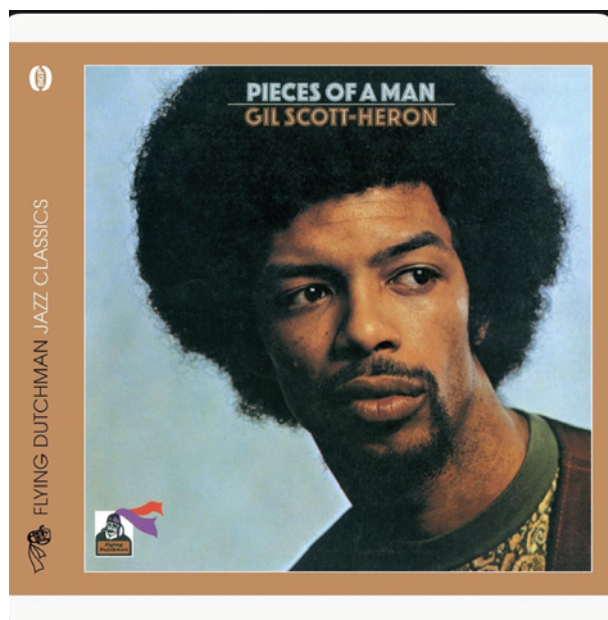
Day What a Day

ファビオ・ノービレ



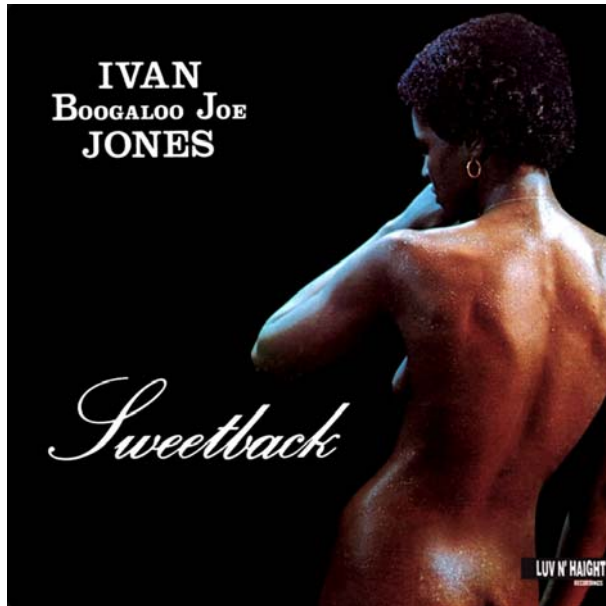
Lady Day and John Coltrane

ギル・スコット・ヘロン



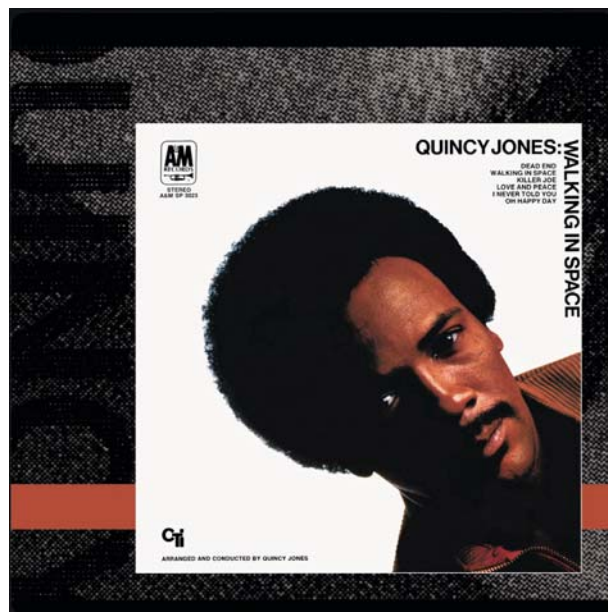
Confusion

Ivan "boogaloo" Jones



Oh Happy Day

エドウィン・ホーキンス(演奏：クインシー・ジョーンズ)



Have a Spacesuit Will Travel

The Greg Foat Group



芸術

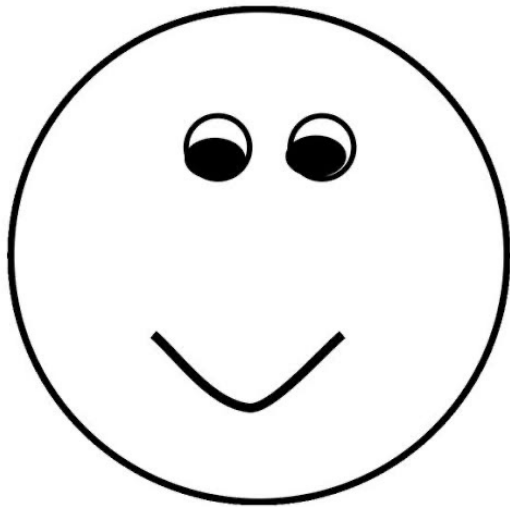
花

アンディ・ウォーホル



How are you feeling today(2014-)

平山昌尚(HIMAA)



一日一花 **A FLOWER A DAY(2019)**

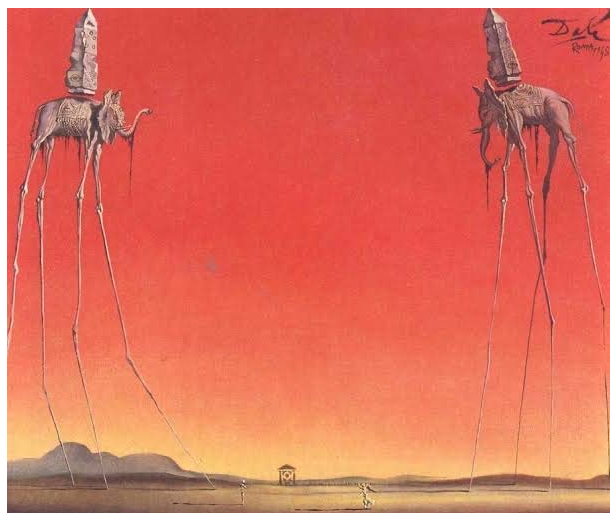
高田唯



AUG_16_2019

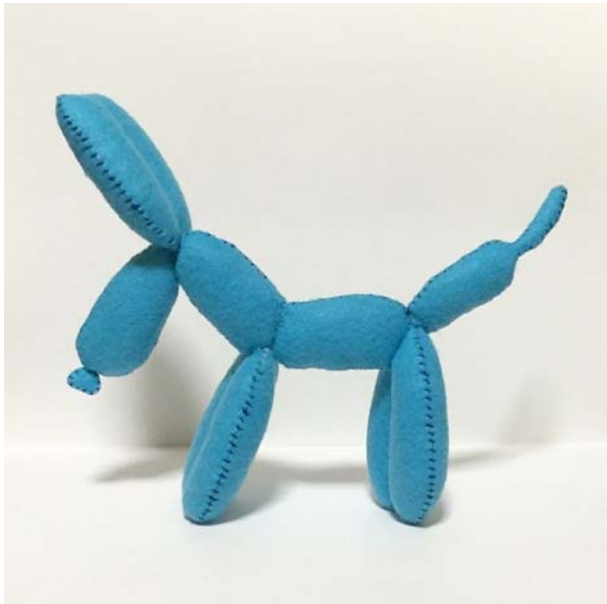
象

サルバドール・ダリ



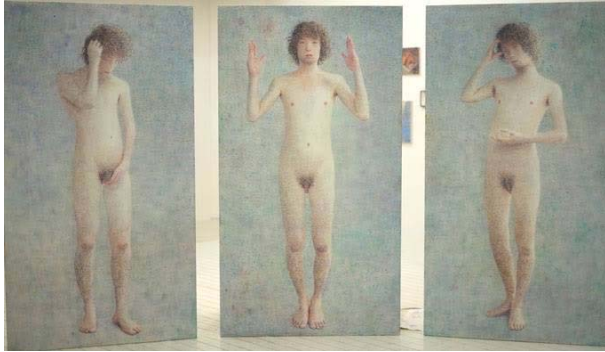
作品名不明

Yuri Hasegawa



智 · 感 · 情 · A

梅津庸一



還る

衣川明子



波を止めている夢

潘逸舟



スローモーション

坂本夏子



Adventure of Everyday Life

西野達

